

【Release Note】

発行日：2010/06/01

ソフトウェア名：Pagemster RIP 6500 for Windows2003 Server

適用バージョン情報：Version 2.00R00,01,02

適用パッチ：6500UD200P8.exe

パッチ名称：P8

発行元：コニカミノルタエムジー（株） GI 事業企画室

P8パッチには、Ver.2.00R02 へのバージョンアッププログラム及びP4,P5,P6 のパッチが含まれています。

※P8 パッチはクライアントソフトの更新も必要です。

◆ Pagemaster RIP 6500 P4 の修正及び変更内容

No.	改修内容
—	特定のモノクロPDF を処理するとカラージョブとしてカウントする問題を修正。
FPM-079	透明処理、オーバープリント、グラデーションの重複したPDF 出力時にK 版のみオブジェクトエッジ部の座標・色計算が不正になる問題を改修
FPM-078	本体トレイ破損時にRIP の環境設定ファイルエラーが発生する問題を修正。
FPM-083	韓国語 OS で中国語リニアツールが起動する問題を英語版が起動するよう修正。
FPM-081	繁体語 OS でリニアツールが文字化けする問題を英語版が起動するよう修正。
—	複数部数、部単位なし、両面出力、部分出力、スタンプマーク併用時にジョブがエラーなる問題を修正。
—	13x19,12x18,11x17,F4 に対してサーバーツールの両面印字位置調整結果が不正な問題を修正。

◆ Pagemaster RIP 6500 P5 の修正及び変更内容

No.	改修内容
FPM-088	モノクロジョブを2 色印刷で出力するとカラーカウントされる問題を判定処理を変更修正。

◆ Pagemaster RIP 6500 P6 の修正及び変更内容

No.	改修内容
FPM-092	インデザインで作成された丸波線吹き出しの丸の一部が印字されない問題を修正。
FPM-091	特定の紙サイズで紙サイズより大きなデータでの複数枚数出力時の表裏位置ズレが発生する問題を修正
FPM-094	特定のPDF でエラーになる問題を修正（台湾）
FPM-095	図形の処理が画面と表示と異なる問題を修正

◆ Pagemaster RIP 6500 P8 の修正及び変更内容

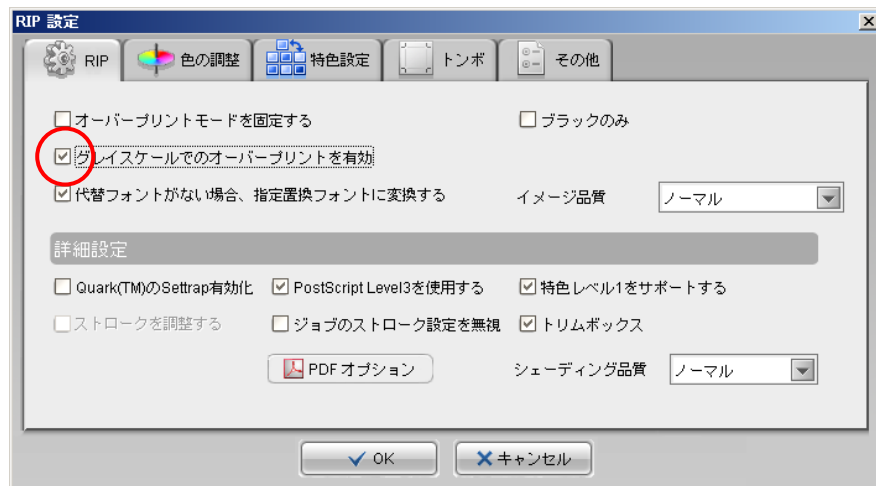
No.	改修内容
FPM-086	不定形サイズ両面出力にて裏面がズれる問題を修正。
FPM-090	アウトラインEPSのセットグレイオーバープリント処理の機能追加
FPM-096	特定のモノクロPDF データを処理するとカラージョブとしてカウントされる問題を修正。
FPM-098	部単位（しない）にして印刷すると裏面下部の角トンボの間隔が縮む問題を修正。
FPM-099	Acrobat9 から VP 出力すると、一部がカラーカウントされてしまう問題を修正。
FPM-101	特定のPDF データを直接出力すると画像回転の有無で JOB 中のロゴが崩れる問題を修正。
FPM-102	ドットゲインファイル、特色設定ファイル、リニア調整ファイル名に特定の文字を使用すると文字化けする問題を修正。

【P8新機能の解説】

1. CMYKカラーのBk100%オブジェクトと同様にグレイ100%オブジェクトでもオブジェクトに塗り設定されている場合は、オーバープリント再現（下地の色が印刷される）が可能になりました。（FPM-090）

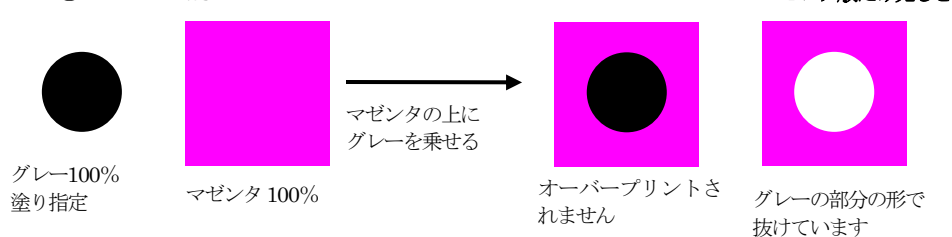
（ア）設定方法

コンソール>各テンプレート>RIP設定>RIPタブにグレースケールでのオーバープリントを有効のチェックボックスが追加されました。（画面はチェックを入れた状態です）

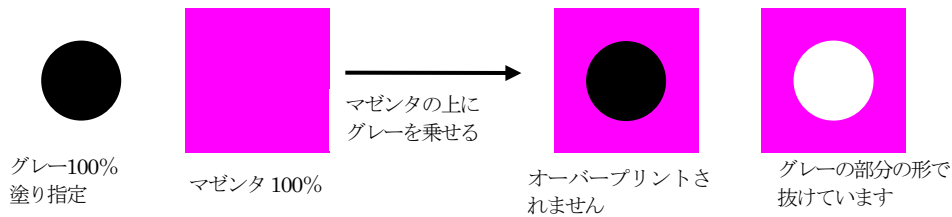


（イ）例

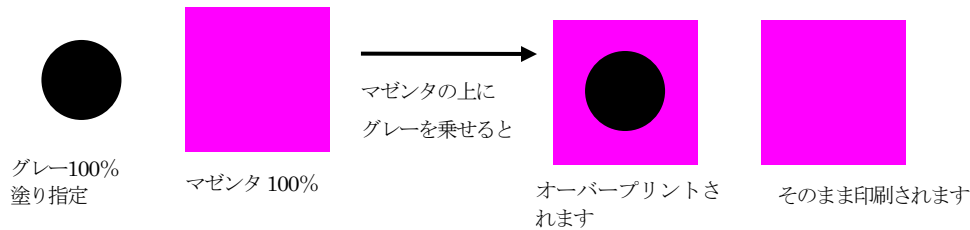
① P6以前



- ② P8の「グレースケールでのオーバープリントを有効」にチェックを入れない場合はP6と同じ結果になります。



- ③ グレースケールでのオーバープリントにチェックを入れるとオーバープリントされます。



- * 解説に使用した色の組み合わせは一例です、下地の色は他の色でも同様な効果が得られます。
- * この例ではRIPのプレビューでマゼンタだけ見ることで効果を確認できます

2. 仕様変更・カラーカウントの判定方法を変更しました。(FPM-099)

(ア) P6以前のカラーカウント判定処理

Pagemaster Rip 6500のモノクロ・カラー判定はアプリケーションから印刷されたプリントジョブ（ポストスクリプトジョブ）に記載されている、カラー情報を手がかりに判定しておりましたが、アプリケーションの種類やOS環境、データの構造によってはカラー判定が困難なケースがありました。

① P8よりモノクロ・カラー判定の仕組みを変更

Pagemaster Rip 6500にクライアントPCからプリントされたり、ホットフォルダーに送られた画像データはカラーマネジメント処理、ラスターライズ処理され最終的にCMYKの画像となりプリンター本体に送られ網がけされ印刷されます。今回の仕様変更ではプリンターに送られる直前のCMYK画像にCMYの画像（カラー成分）が含まれていなければモノクロと判定するように変更しました。RIPのプレビューや印刷物を見てBkしか無ければモノクロとして判定されます。画像の内容を全てチェックする為、RIP内部でのカラー判定処理に旧来よりも負担がかかりますが、より確実に判定できるようになりました。

3. パッチ情報の表示

Pagemaster RIP 6500クライアントのメニュー内「ヘルプ」→「詳細」タブで表示されるRIPの情報にパッチ情報を表示するようにしました。

